

平成 21 年 度

事 業 報 告 書

平成 22 年 3 月

財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

目 次

- | | |
|----------------------|--------|
| 1. 公益事業 | P. 1 |
| 2. 徳川美術館拡充整備事業（公益事業） | P. 4 1 |
| 3. 収益事業 | P. 4 3 |

1. 公益事業

総務部

1. 事業事項

〔I〕 調査・研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
1. 尾張徳川家の婚姻について	専務理事・総務部長・学芸員 近松 真知子	昭和 62 年
2. 尾張徳川家系図の調査研究	〃 〃	63 年
3. 近世初期の漢画の研究	非常勤学芸員 林 里絵	平成 11 年
4. 徳川義親に関する調査研究	〃 〃	19 年
5. 江戸時代の国学興隆が絵画製作に及ぼした影響について	〃 鎌田 純子	19 年
6. 川面版 源氏物語絵巻の研究	〃 林 里絵・鎌田純子	19 年

〔II〕 研究発表

1. 講演

会長・美術館長 徳川 義崇

演 目	主 催	会 場	年月日
文化を守る ～徳川義親の足跡をたどって～	ウェスティン ナゴヤキャ ッスルホテル 職員研修	ウェスティンナゴヤ キャッスルホテル	平成21年 7月17日
公開対談 400年の歴史を超えて 現代の「信長」VS「家康」	名古屋市名古屋城整備室	名古屋 オアシス21	〃 10月 3日
文化を守る ～徳川義親の足跡をたどって～	中京大学 公開講座	中京大学 エクステ ンションセンター	〃 10月21日
文化を守る ～尾張徳川家十九代徳川義親の 足跡をたどって～	名古屋商工会議所	ホテルグランコート 名古屋	平成22年3月3日

演 目	主 催	会 場	年月日
遺す・伝える一源氏物語絵巻を例にとって一	名古屋イーストライオンズクラブ	ウェスティン ナゴヤキャッスルホテル	平成22年3月18日
徳川美術館の歴史	三菱東京UFJ銀行 雛まつり特別鑑賞会	徳川美術館	平成22年3月26日

〔Ⅲ〕 編 集 ・ 刊 行

1. 金鯨叢書 第36輯

近松真知子・林 里絵

〔Ⅳ〕 所 蔵 品 出 陳 (他館主催展覧会)

	出 陳 先	展 覧 会 名 称	期 間	出 陳 品
1	広島県立美術館	「一 知られざるサムライアート 一 大名庭園展」	H21. 4. 21～ 5. 31	戸山御庭之図 一巻
2	茶道資料館	夏季展 「文房具」	H21. 6. 20～ 9. 23	猿面硯 一面 他 4点
3	五島美術館	特別展 「向付 一茶の湯を彩る 食の器一」	H21. 6. 27～ 7. 26	瀬戸鉄釉皿 五枚 他 6点
4	名古屋市博物館	企画展 「小栗鉄次郎一戦火から」 国宝を守った男」 仮	H21. 8. 1～ 9. 13	高坏 一口 他 14点
5	大阪市立美術館	「道教の美術」展	H21. 9. 15～10. 25	黄金造 神農像 一躰
6	愛知県陶磁資料館	特別企画展 「志野・黄瀬戸・織部の デザイン」	H21. 10. 3～11. 29	竹の子文志野筒茶碗 銘 玉川 一口

	出陳先	展覧会名称	期間	出陳品
7	茶道資料館	秋季特別展 「わび茶の誕生 －珠光から利休まで－」	H21. 10. 10～11. 29	室町殿行幸御飾記 一卷 他 6点
8	日蓮聖人門下連合会 京都国立博物館 日本経済新聞社	特別展 「日蓮と法華の名宝 －華ひらく京都町衆文化－」	H21. 10. 10～11. 23	曜変天目 一口 他 2点
9	福井市立郷土歴史 博物館	特別展 「葵と菊 ～越前の名刀工・康継と 国清～」	H21. 10. 16～11. 23	重要美術品 刀 銘 以南蛮鉄於武州 江戸越前康継 一振 他 3点
10	文化庁 メトロポリタン 美術館	「サムライ・アート」	H21. 10. 20 ～22. 1. 10	太刀 銘 光忠 一口 他18点
11	佐野美術館	「和歌（やまとうた）の 彩り～かな文字と装飾 料紙の美～」	H21. 10. 24～11. 23	三十六歌仙和歌 一卷 他 3点
12	佐野美術館	特別展 「短刀の美 －鉄(くろがね)の煌き」	H21. 11. 28～12. 23	国宝 短刀 銘 吉光 名物 後藤藤四郎 他 3点
13	九州国立博物館	文化交流展示（常設展） 「海の道、アジアへの路」	H22. 1. 1～ 1. 31	国宝 初音蒔絵調度 大角赤手箱 一合 他 2点
14	名古屋市博物館	名古屋開府四〇〇年記念 特別展「名古屋四〇〇年の あゆみ」	H22. 1. 9～ 3. 7	米騒動絵巻 三巻 他11点

2. 処務事項

1. 役員に関する事項

(平成22年3月31日現在)

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職 業	最初就任年月
理事	徳川 義崇	平成20. 5. 30	会 長	八雲産業(株)社長 徳川美術館 館長	平成 5. 5
〃	近松真知子	〃	専務理事	(財) 徳川黎明会 総務部長	〃 18. 5
〃	竹内 誠	〃	常務理事	東京学芸大学名誉教授 徳川林政史研究所 所長	〃 13. 5
〃	徳川 斉正	〃		(財)水府明德会会長	〃 13. 5
〃	中田 易直	〃		中央大学名誉教授	〃 14. 11
〃	近藤 道生	〃		(株) 博報堂最高顧問	〃 14. 11
〃	前田 利祐	〃		(社) 霞会館理事	〃 18. 5
監事	田中 秀隆	〃		(財)三徳庵専務理事	〃 5. 5
〃	竹田 憲央	〃		中央化学(株) 常務執行役員 ・国際本部長	〃 17. 3
〃	松平 頼武	〃		(学) 本郷学園理事長	〃 13. 5
評議員	麻生 太郎	〃		衆議院議員	〃 4. 2
〃	太田 宏次	〃		(財) 東洋医学研究財団 理事長	〃 16. 5
〃	海部 俊樹	〃		(財) 中央政策研究所 最高顧問	〃 4. 1
〃	加戸 守行	〃		愛媛県知事	〃 7. 5
〃	小林 喬	〃		富国生命保険(相)相談役	昭和59. 12
〃	里中 哲朗	〃			平成 9. 3
〃	佐藤 豊三	〃		徳川美術館専門参与	〃 18. 5
〃	佐野文一郎	〃		(社)日本工芸会 理事長	〃 13. 5
〃	徳川 義真	〃			〃 10. 5
〃	中村 誠治	〃		(株) 北芝建設相談役	〃 17. 3
〃	西崎 清久	〃		(学) 共立女子学園 常務理事	〃 13. 5
〃	原 俊夫	〃		(財)アルカンシエール 美術財団 理事長	昭和 53. 12
〃	濱本 英輔	〃		(株) ロッテ顧問	平成 13. 5

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職業	最初就任年月
評議員	林 董一	平成18. 5. 30		愛知学院大学名誉教授	平成 1. 10
〃	深井 雅海	〃		聖心女子大学 教授 徳川林政史研究所副所長	〃 9. 4
〃	松平 恒忠	〃		日本英語交流連盟 会長	〃 13. 5
〃	深山 明敏	〃		(財)偕行社 理事	〃 9. 3
〃	山本 泰一	〃		徳川美術館 名誉副館長 ・上席参与	〃 5. 5
合 計		28名			

2. 職員に関する事項

(1) 総務部

(平成22年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務	
総務部	部長	専務理事	近松真知子	昭和61. 3. 20	総務・学芸関係事項総括
	課長・秘書室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子	平成 2. 9. 10	総務・学芸関係事項 林政史 保管写真管理 役員秘書業務
	課長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之	〃 9. 6. 1	経理・会計事項
		嘱託	宮 裕美	〃 8. 11. 5	美術館保管写真管理
合 計		4 名	他に非常勤嘱託 6名 (うち1名 非常勤学芸員兼任) 非常勤学芸員 1名		

(2) 徳川美術館

(平成22年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務		
館長	会長	徳川 義崇	平成17. 12. 1	館務総括		
副館長	参事補	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	館長補佐		
名誉副館長 上席参与 (渉外担当)	嘱託	山本 泰一	平成19. 12. 4			
学芸部	部長	参事補	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	学芸関係事項統括	
	係長	書記	吉川 美穂	平成 5. 4. 1	学芸事項	
		〃	龍澤 彩	〃 13. 4. 9	〃	
		〃	原 史彦	〃 19. 4. 1	〃	
		〃	下畑いつこ	〃 19. 10. 1	〃	
専門参与	嘱託	佐藤 豊三	〃 18. 9. 28	〃		
企画情報部	部長	主事	小池 富雄	昭和53. 2. 8	企画情報関係事項統括	
	課長 (教育普及担当)	主事補	加藤 啓子	〃 58. 4. 1	企画情報事項	
		書記	並木 昌史	平成 7. 4. 1	〃	
		〃	志賀 太郎	〃 16. 9. 1	〃	
		〃	坪井 美幸	〃 20. 4. 1	〃	
業務部	部長	嘱託	寺島 一夫	平成19. 4. 11	庶務・管理関係事項統括	
	課長 (管理担当)	主事補	野村 弘和	昭和63. 3. 1	管理事項	
		〃	長谷 峰生	〃 63. 3. 1	庶務・経理・会計事項	
	係長	書記	長沼 英樹	平成12. 4. 1	営繕事項	
		〃	大田 智恵	〃 1. 7. 1	庶務及び会計事項	
		〃	小塚 愛弓	〃 18. 4. 1	庶務事項	
		補手	〃	間瀬田 憲次	〃 15. 12. 9	管理事項
			〃	間瀬田 加代	〃	〃
合計		21 名	他に非常勤研究員 非常勤研究生	7 名(うち1名 役員兼任) 1 名		

(3) 徳川林政史研究所

(平成22年3月31日現在)

職 名	職 階	氏 名	就任年月日	担 任 業 務
所 長	常務理事	竹内 誠	平成10.10. 1	所務総括
副 所 長	嘱 託	深井 雅海	〃 20. 4. 22	所長補佐並びに研究・補助金 交付事項
主任研究員	主事補	太田 尚宏	〃 11. 4. 1	研究及び蔵書目録編纂事項
研 究 員	書 記	白根 孝胤	〃 15. 4. 1	〃
係 長	〃	鶴岡 香織	〃 11. 4. 1	林政史研究所庶務
合 計		5 名	他に特任研究員 14 名 非常勤研究員 9 名 非常勤研究生 18 名	

(4) 職員総計

総 計	30 名	他に 非常勤嘱託 6 名 (うち1名 非常勤学芸員兼任) 非常勤学芸員 1 名 特任研究員 14 名 非常勤研究員 16 名 (うち1名 役員兼任) 非常勤研究生 19 名
-----	------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

なお上記のほか、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱している。この人員は美術館2名・林政史研究所6名となっている。

3. 役員会に関する事項

(1) 理事会

第1回

- 開催 平成21年5月29日 午前11時 当会に於いて
- 議事 1. 平成20年度事業報告の件
2. 平成20年度決算報告並びに監査報告の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

第2回

- 開催 平成21年11月20日 午前11時30分 当会に於いて
- 議事 1. 平成21年度事業計画書及び収支予算書の変更の件
- 結果 1. 『徳川美術館文化財管理システム』の更新費用捻出のため、平成21年度の事業計画書及び収支予算書を変更したい旨の提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。

第3回

- 開催 平成22年 3月19日 午前11時 当会に於いて
- 議事 1. 普通財産の証券の中から株式等を八雲産業株式会社に売却する件
- 結果 1. 普通財産の証券の中から24銘柄を選び、売買契約を締結して八雲産業株式会社に売却したい旨の提議があり、審議の結果出席者一同異議なく全員賛成を得られたためこれを承認可決した。

第4回

- 開催 平成22年3月30日 午後4時 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号霞ヶ関ビル34階
霞会館に於いて
- 議事 1. 平成22年度事業計画及び同予算案審議の件
2. 最初の評議員の選任方法案について
3. 最初の評議員選定委員会設置規則案について
4. 評議員選定委員会委員案について
- 結果 1. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。
2・3・4
2号議案については既に文部科学大臣の内諾を得ているが、3・4号議案も含めて、いずれも文部科学大臣の正式の認可を得ることの停止条件つきで提案したい旨の提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。

(2)評議員会

第1回

- 開催 平成21年5月29日 午前10時30分 当会に於いて
- 議事 1. 平成20年度事業報告の件
2. 平成20年度決算報告並びに監査報告の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

第2回

- 開催 平成21年11月20日 午前11時 当会に於いて
- 議事 1. 平成21年度事業計画書及び収支予算書の変更の件
- 結果 1. 『徳川美術館文化財管理システム』の更新費用捻出のため、平成21年度の事業計画書及び収支予算書を変更したい旨の提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。

第3回

○開催 平成22年3月30日 午後5時 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号霞ヶ関ビル34階
霞会館に於いて

○議事 1. 平成22年度事業計画及び同予算案審議の件

○結果 1. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、原案の通り承認可決された。

○報告 公益法人制度移行にともない、最初の評議員選任方法案・最初の評議員選定委員会設置規則案・評議員選定委員会委員案がいずれも文部科学大臣の停止条件つきながら理事会で承認されたことの説明・報告がなされた。

4. 監査に関する事項

平成20年度決算監査が、平成21年5月27日当会に於いて行われ、その結果適法正確と認められた。

5. 寄附金に関する事項

平成21年2月9日、通算10回目の認定を受けた。これに基づき平成23年2月8日を目処に総額25,000千円として募金活動を開始したが、大方の理解と協力を得て平成22年3月31日現在法人20件（36口）、個人312件（829.5口）合計11,715千円が寄せられている。

6. 財団会計業務に関する事項

①平成22年度予算編成より新公益会計基準（平成16年基準）を導入した。

②公益事業固定資産台帳のデータ化を完了した。

③減価償却費計算システムの運用を開始した。

7. 新公益法人制度移行に関する事項

当会は公益財団移行をめざすこととした。講習会等に積極的に参加し、公益申請の準備を進めている。

徳川美術館

1. 事業事項

[I] 調査・研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
(1)館藏品悉皆調査	学 芸 部 共 同	昭和63年
(2)尾張徳川家関係寺社藏品調査	” ”	” 58年
(3)徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長 山本泰一	” 49年
(4)請来仏画の研究	” ”	” 56年
(5)『君台観左右帳記』の研究	学芸部・専門参与 佐藤豊三	” 58年
(6)茶の湯の名物道具について(名物論) －『玩貨名物記』を中心にして－	” ”	” 63年
(7)戸山屋敷御成について	” ”	平成 3年
(8)近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－	企画情報部長・学芸員 小池富雄	昭和57年
(9)幸阿弥派蒔絵の研究	” ”	平成元年
(10)古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長 四辻秀紀	昭和60年
(11)歌絵・物語絵の研究	” ”	平成 3年
(12)近世絵画の研究	学芸部係長・学芸員 吉川美穂	” 6年
(13)尾張を中心とする画家の活動について	” ”	” 11年
(14)松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究	” ”	” 21年
(15)尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員 並木昌史	” 8年
(16)有職装束の研究	” ”	” 8年
(17)松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究	” ”	” 21年
(18)中近世やまと絵の研究	” 龍澤 彩	” 13年
(19)館蔵朝鮮陶磁の調査研究	” ”	” 16年
(20)東アジア絵画とその影響を受けた日本中近世絵画の研究	” 志賀太郎	” 16年
(21)室町将軍家を中心とする唐物の受容について	” ”	” 20年
(22)徳川将軍家と尾張家の研究	” 原 史彦	” 19年
(23)長篠・長久手図屏風の研究	” ”	” 20年

2. 文部科学省科学研究費補助金による研究

「国宝 初音の調度の総合的研究」	代表 小池富雄	平成19年
------------------	---------	-------

[Ⅱ] 研究発表

1. 金鯨叢書 第37輯・尾陽 第七号 (編集)

2. 特別展図録(刊行)

(1) 秋季特別展「戦国ふあつしょん -武将の美学-」

- ・「戦国ふあつしょん」の世界へ 並木昌史
- ・絵画から読み解く武将のよそおい 吉川美穂
- ・南蛮ファッションと戦国武将 小池富雄
- ・図版解説 小池富雄・吉川美穂・並木昌史

3. その他雑誌・刊行物

- (1) 「書の名品をたずねて」展 (中日新聞 一点解説) 四辻秀紀・並木昌史
- (2) 「戦国ふあつしょん-武将の美学-」展 (") 吉川美穂・並木昌史

[Ⅲ] 文化財保存

1. 修理

基本美術品

葵紋付楓重文辻ヶ花染小袖(重要文化財) 一領 国宝重要文化財等保存整備費補助金

普通美術品

纏「直鋒」 一枚 第3回徳川美術館拡充整備基金

2. 購入

普通美術品

山本梅逸絵入消息 七月九日付 柴田洞元宛 一幅 第3回徳川美術館拡充整備基金

備前焼夜富文字香合 一合 "

尾張藩士大沢家文書 二四点 資料購入費

3. 寄贈

普通美術品

内裏雛（箱入り）	一对	中村豊子氏
能人形「鶴亀」（箱入り）	一对	〃
天冠かぶり人形	一对	〃
木目込立雛	一对	〃
はいはい人形（箱入り）	一体	〃
都おどり人形（箱入り）	一式	〃
幼児人形 大小	十体	〃
雛道具	一式	〃
桜橘（箱入り）	二对	〃
組み立て茶室（六畳） 徳川慶勝所用	一式	瀧 義範氏
草花蒔絵螺鈿洋櫃	一合	高樹経沢氏
源氏物語図貼込屏風	六曲一隻	森野レイ子氏
茶弁当	一荷	伊藤千会子氏
花車図屏風	六曲一双	吉田友昭氏
花鳥図屏風 狩野永納筆	六曲一双	〃
定紋幕屏風	六曲一双	〃
諸家扇面短冊貼込屏風	六曲一双	〃
雲龍・雪梅・風竹図 狩野山雪筆	三幅对	吉田説子氏
月に竹図屏風 渡辺清筆	二曲一隻	〃
有職雛	一式	〃
三折れ人形(走だか人形)	一躰	〃
抱き人形(三折れ・毛糸帽子)	一躰	〃
御所人形(烏帽子・腹掛け姿)	一躰	〃
御所人形(宝船曳き)	一躰	〃
御所人形(這子)	一躰	〃
洲浜鶴	一箱	〃
伊弉諾尊・伊弉冉尊	一对	〃
衣裳人形	十一躰	〃
豆市松	大小十二躰	〃
豆ビスク	三躰	〃

籠入り人形(桃割れ・ピンク服)	二躰	吉田説子氏
教育裁縫遊び	一箱	〃
人形衣裳	一箱	〃
鬘人形	一箱	〃
大原女	一躰	〃
ガラスケース入りビスク	二躰	〃
面かぶり	一躰	〃
象牙製桃太郎(台付)	一躰	〃
鶏籠	一個	〃
蹴鞠	一個	〃
押絵羽子板	一面	〃
懸守	四懸	〃
酒壺	一對	〃
錫酒壺(慶応二年)	一對	〃
菓玉(箱入)	一個	〃
鞠	三個	〃
源氏物語絵巻 現状模写 柏木(一) 詞書第三紙 藤田飛鳥作	一面	藤田飛鳥氏
〃 柏木(二) 詞書第三・四紙 田口玲皇奈作	一面	田口玲皇奈氏
〃 柏木(二) 詞書第五・六紙 川名倫明作	一面	川名倫明氏
〃 柏木(二) 詞書第七・八紙 渡邊美樹子作	一面	渡邊美樹子氏
〃 柏木(三) 絵 上野高作	一面	上野 高氏
〃 柏木(三) 詞書第一・二紙 上野高作	一面	〃
〃 東屋(二) 絵 秋山洋平作	一面	秋山洋平氏
〃 東屋(二) 詞書第一・二紙 秋山洋平作	一面	〃
〃 宿木(三) 絵 上野直美作	一面	上野直美氏
〃 宿木(三) 詞書第一紙 上野直美作	一面	〃
〃 蓬生 絵 林奈緒子作	一面	林奈緒子氏
〃 蓬生 詞書第三・四紙 林奈緒子作	一面	〃

4. 収蔵品の撮影

部 内

- (1) 「書の名品をたずねて」展関係
- (2) 「日本の美術の愛し方」展関係
- (3) 「信長・秀吉・家康の合戦」展関係
- (4) 「物語の森へ」展関係
- (5) 「戦国ふあっしょん」展関係
- (6) 「蓬萊」展関係
- (7) 「蓬左 源氏物語の世界」展関係
- (8) 「尾張徳川家の雛まつり」展関係
- (9) 「王者の華 牡丹」展関係
- (10) 「大名古屋城」展関係
- (11) 新規購入・寄贈、修理後作品撮影

部 外

- (1) 五島美術館依頼 (瀬戸鉄釉皿 ほか)
- (2) 淡交社依頼 (純金張葵紋蜀江文天目・天目台ほか)
- (3) " (青磁中蕪形花生ほか)
- (4) " (竹一重切枝付花生ほか)
- (5) 東京文化財研究所依頼 (本多平八郎姿絵屏風・歌舞伎図巻)

5. 図書の購入・受贈

1. 図書は、『中国古代書畫人物編年』、『国宝 伴大納言絵巻』（中央公論美術出版）、『王朝盛飾－平安朝の色－』（学習研究社）などの他、『東京大学史料編纂所影印叢書』（八木書店）、『ものと人間の文化史』（法政大学出版局）などの継続により、計358冊を購入。また、『尊経閣善本影印集成』（八木書店）、『藤原為家研究』（笠間書院）、『初期絵巻物の風俗史的研究』（吉川弘文館）など計545冊の寄贈を受けた。
2. 雑誌は、『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』、『文物』、『故宮學術季刊』などの定期購読のほか、計307冊を購入。また、『茶道の研究』、『刀剣美術』、『美術研究』、『MUSEUM』、『茶の湯文化学』ほか、多数の寄贈を受けた。

〔Ⅳ〕展 示

1. 常設展示(第1～6室)

(1)大名の生活と文化	約1ヶ月毎に展示替		
	常設展示入場者数(企画展示期間を除く)		8,319人
(2)特別公開	国宝 源氏物語絵巻 橋姫・宿木三	21. 11. 21 ～ 11. 29	第5室
(3)特別公開	千利休 泪の茶杓	22. 2. 20 ～ 3. 3	第2室
(4)特集展示	殿様好みの折り畳み茶室	21. 4. 28 ～ 5. 24	エントランスホール
(5)特集展示	秋山好古筆小学校長辞職願	22. 1. 5 ～ 1. 31	エントランスホール

2. 企画展示 (第7～9室)

	(会 期)	(入場者数)
(1)春季特別展 書の名品をたずねて (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	21. 4. 11 ～ 5. 24	25,952人
(2)企画展示 日本の”美術”の愛し方ー美への扉ー (日本経済新聞社共催)	5. 30 ～ 7. 12	22,060人
(3)夏休み歴史教室 信長・秀吉・家康の合戦 (朝日新聞社共催)	7. 18 ～ 8. 30	28,596人
(4)企画展示 物語の森へ ー眼で楽しむ日本の古典ー (日本経済新聞社共催)	9. 5 ～ 10. 4	17,950人
(5)秋季特別展 戦国ふぁっしょん ー武将の美学ー (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 10 ～ 11. 15	31,658人
(6)企画展示 蓬萊 ー延命長寿の願いをこめてー (日本経済新聞社共催)	11. 21 ～22. 1. 31	24,527人
(7)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 6 ～ 4. 4	57,986人

企画展示入場者数合計 209,729人
 平成21年度総入場者数 218,048人

3. 蓬左文庫展示室

展示室 1・2	春季特別展 書の名品をたずねて (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	21. 4. 8～ 5. 24
展示室 1	七夕－星にこめる願い－	5. 27～ 7. 20
展示室 2	近代の詩歌	〃
展示室 1	徳川義直と儒教	7. 23～10. 4
展示室 2	絵図に描かれた名山－靈山信仰の世界－	〃
展示室 1・2	秋季特別展 戦国ふあっしょん －武将の美学－ (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 7～11. 15
展示室 1	目利きと鑑定	11. 18～12. 13
展示室 2	江戸の歴史書－尾張藩社会と秀吉	〃
展示室 1	江戸の好古趣味	22. 1. 5～ 2. 14
展示室 2	島原の乱－その攻略と陣形	〃
展示室 1	尾張徳川家の宝物目録－蔵帳にしるされた品々－	2. 17～ 4. 4
展示室 2	幕末情報学 －「青窓紀聞」にみる長州征伐－	〃

4. 特別観覧

	(会 期)	(入場者)
(1)名香鑑賞会	20. 6. 14 (1日間)	275人
(2)徳川茶会	20. 10. 11～11. 3(8日間)	2,710人

5. 展示品リスト・キャプション・解説 作成 学芸部共同

6. 文化財管理システムの更新準備

7. 助成申請

(1) 名古屋市共催負担金

「夏休み子ども特別企画」について、名古屋市への共催申請が認可され、100,000円の交付が決定した。

(2) 平成21年度 文化庁「美術館・博物館活動基盤整備支援事業」支援金

「小中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー」「視聴覚障がい者のための鑑賞プログラム」について、経費支援の申請が認可され、239,720円の交付が決定した。

[V] 特別観覧 (敬称略)

(観覧者)	(年月日)	(作品)
(1) 國華社 國華清話会	21. 4. 3	葉月物語絵巻ほか14件
(2) 手塚雄二 (東京芸術大学) ほか12名	4. 30	源氏物語絵巻 蓬生 (絵) ほか
(3) 横山住雄	5. 13	土岐頼充書状
(4) 高樹経沢	5. 14	牡丹文堆朱盆ほか4件
(5) 岩崎望 (高知大学)	5. 19	初音蒔絵十二手箱ほか3件
(6) 尾野善裕 (京都国立博物館)	5. 20	曜変天目茶碗ほか1件
(7) 何傳馨 (台湾 故宮博物院)	5. 28	遠浦帰帆図ほか3件
(8) 手塚雄二 (東京芸術大学) ほか11名	6. 4	源氏物語絵巻 蓬生 (詞) ほか
(9) 小池富雄 (徳川美術館) ほか11名	6. 23・24	初音蒔絵大角赤手箱ほか9件
(10) 手塚雄二 (東京芸術大学) 12名	7. 23	源氏物語絵巻
(11) 池田寿 (文化庁美術学芸課)	7. 22	斎宮女御集ほか4件
(12) 久保智康 (京都国立博物館)	7. 22	獅子図三所物
(13) 手塚雄二 (東京芸術大学) ほか12名	9. 11	源氏物語絵巻 蓬生 (詞) ほか
(14) 久保智康 (京都国立博物館) ほか4名	9. 24	紫銅向獅子香炉ほか15件
(15) 手塚雄二 (東京芸術大学) ほか11名	10. 22	源氏物語絵巻 横笛 (絵) ほか
(16) 今理織 (NHK大阪放送局) ほか2名	10. 14	竹茶杓 銘 泪
(17) 下坂玉起	12. 2	羽根ほか1件
(18) 手塚雄二 (東京芸術大学) ほか11名	22. 1. 7	源氏物語絵巻 横笛 (絵) ほか
(19) 岩崎望 (高知大学) ほか1名	1. 19	初音蒔絵硯箱ほか2件
(20) 雨宮六途子 (高津古文化会館)	1. 19	源氏物語画帖ほか1件
(21) 江村知子 (東京文化財研究所)	1. 20・21	本多平八郎姿絵屏風ほか1件

(22) 河村尚子 (淡交社) ほか2名	1. 29	青磁中蕪花生ほか3件
(23) 上洲安亨 (海洋博覧会記念公園管理財団) ほか6名	2. 18	朱漆花鳥七宝繫文密蛇絵沈金御供飯
(24) 石野友康 (石川県金沢城調査研究所)	2. 26	前田利長書状ほか2件
(25) 小池富雄 (徳川美術館) ほか15名	3. 9・10	初音蒔絵沈箱ほか10件
(26) 太田彩 (宮内庁三の丸尚蔵館)	3. 11	天皇撰関御影

[VI] 教育・普及

1. 部外出講

(主催者)	(演 目)	(期 間)	(担 当)
(1) 愛知淑徳大学	美術史	後期	四辻秀紀
(2) 南山大学	日本美術史	前期	〃
(3) 中京大学	有職故実	集中	〃
(4) 名古屋造形芸術大学	東洋美術史特講A・B	通年	山本泰一
(5) 東海学園大学	日本文化特論A	集中	〃
(6) 名古屋芸術大学	日本美術史	後期	佐藤豊三
(7) 愛知県立芸術大学	博物館概論	前期	〃
(8) 名古屋外語大学	文化 I	前期	小池富雄
(9) 南山大学	博物館学Ⅲ	後期	〃
(10) 名古屋芸術大学	博物館実習 I・II	集中	吉川美穂
(11) 椋山女学園大学	博物館実習	〃	〃
(12) 金城学院大学	映像文化論	前期	龍澤 彩
(13) 愛知県立大学	日本美術史	後期	〃
(14) 愛知県立芸術大学	博物館学各論	集中	〃
(15) 名古屋芸術大学	博物館学各論	通年	原史彦
(16) 名古屋芸術大学	日本美術史	前期	志賀太郎
(17) 栄中日文化センター	かな古筆の名品をたずねて	通年	四辻秀紀
(18) 〃	徳川家の姫君 その華麗なる世界	4月～9月	吉川美穂
(19) 〃	古文書から読み解く徳川家康と戦国武将	〃	並木昌史 原 史彦
(20) 〃	絵で読む日本の古典	10月～22年3月	龍澤 彩
(21) 〃	殿様の浮世絵コレクション	22年1月～4月	吉川美穂
(22) マンション管理推進協議会	尾張藩による名古屋の町作りと住宅	5. 20	原 史彦
(23) 皇學館大学	博物館経営・情報論	5. 30	並木昌史

(24)	早稲田大学	美術史演習 (ゲストスピーカー)	6. 26、11. 27	龍澤 彩
(25)	日本ゴム協会	名古屋城と尾張徳川家	7. 10	山本泰一
(26)	碧南市藤井達吉現代美術館	美術講座 日本の絵画	9. 27	四辻秀紀
(27)	松風会	将軍秀忠の数奇の御成と尾張徳川家伝来茶の湯道具	10. 12	佐藤豊三
(28)	愛知県陶磁資料館	大名家のやきもの	11. 1	〃
(29)	中京女子大学	博物館実習	11. 12	吉川美穂
(30)	新宿歴史博物館	江戸城の終焉 写された徳川将軍の城	11. 28	原 史彦
(31)	名古屋観光コンベンションビューロー	観光ボランティア講座	11. 28	小池富雄
(32)	江戸東京博物館	えどはくカルチャー	22. 1. 22	原 史彦
(33)	愛知県博物館協会	ワークシートの作成・活用術	2. 5	加藤啓子

2. 職員の委嘱

(1)	南山大学人類学博物館オープン・リサーチ・センター 研究分担者 (文化資源の公開のための研究)	18. 4. 1~23. 3. 31	小池富雄
(2)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (漆工史・工芸史)	19. 2. 1~調査終了時 (1年更新)	〃
(3)	名古屋東生涯学習センター協議会 協議会委員	20. 5. 15~22. 5. 14	〃
(4)	岡崎市美術博物館 資料収集委員会	20. 4. 1~23. 3. 31	〃
(5)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (絵画)	19. 4. 1~調査終了時	吉川美穂
(6)	彦根藩資料調査研究会研究員	21. 1. 22~23. 3. 31	四辻秀紀
(7)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員 (古代中世絵画・書道史)	21. 4. 24~調査終了時	〃
(7)	財団法人芭蕉翁顕彰会参与	21. 3. 23~	〃
(8)	幸田町教育委員会 本光寺文化財調査指導委員会	21. 12. 17~24. 3. 31	小池富雄
(9)	美濃陶芸協会 美濃陶芸庄六賞茶陶展審査委員	21. 1. 13	佐藤豊三
(10)	京都国立博物館陳列品等に関する買取協議会委員	21. 6. 1~23. 5. 31	四辻秀紀
(11)	江戸東京博物館 購入候補資料鑑定	21. 10. 2	佐藤豊三
(12)	朝日新聞社事業本部 「冷泉家 王朝の和歌守展」 (東京都美術館) 展示作業	21. 10, 21, 11, 24	四辻秀紀
(13)	東京国立博物館 有形文化財買取協議会臨時委員	21. 10. 22	小池富雄
(14)	日本伝統漆芸展 鑑査委員	21. 11. 19、22. 1. 8	〃
(15)	国有文化財等保存修理事業協力者会議 協力者	21. 12. 11~22. 3. 31	四辻秀紀
(16)	奈良国立博物館陳列品等に関する買取協議会委員	22. 1. 26	〃

3. 学会活動

- (1) 私立美術館会議 事務局 平成3年より
第19回 私立美術館会議 22. 1. 29開催 於 根津美術館

4. 国宝「源氏物語絵巻」現状摸写製作指導(東京芸術大学製作)

5. 学芸員実習 6名 21. 7. 29～ 8. 5

6. 講演会・講座等

(1) 定期研究発表会

(内 容)	(年月日)	(講 師)
第55回 長篠・長久手合戦図屏風の製作背景	21. 6. 20	原 史彦
第56回 「鼠の草子絵巻」について	22. 2. 6	龍澤 彩

(2) 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
書の見方-日本の美と心を読む	21. 4. 11	五島美術館学芸部長 名児耶明氏
人間讃歌 戦国ふあっしょんと武士	10. 10	デザイナー 山本寛斎氏

(3) 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
尾張徳川家に伝来した古筆	21. 4. 18	四辻秀紀
星に願う-七夕と日・月-	5. 30	小池富雄
宴の図像 -遊楽図屏風を中心に-	6. 13	志賀太郎
戦国合戦の実態と様相	7. 25	原 史彦
絵本で楽しむ日本の古典	9. 12	龍澤 彩
戦国武将たちの服飾	10. 24	並木昌史

蓬萊の美術	11. 28		山本泰一
江戸の好古趣味	22. 1. 16		吉川美穂
桃山復興と利休	2. 20	大日本茶道学会副会長	田中仙堂氏
大名道具の伝来と保存	3. 13		佐藤豊三

(4) 夏期講座「戦国武将のファッション」

(内 容)	(年月日)		(講 師)
戦国武将と南蛮ファッション-武器と武具-	21. 8. 25		小池富雄
絵画にみる戦国ファッション-肖像画と風俗画-	〃		吉川美穂
戦国武将の服飾美-武として美しく生きるとは-	8. 26	共立女子大学教授	長崎 巖氏
家康の着道楽 -辻ヶ花染小袖を中心に-	〃		並木昌史
見学会(安土城考古博物館・安土城跡・浄厳院・近江真綿工房)	8. 27		

(5) 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)		(講 師)
ペリー来航とその時代	21. 6. 20		竹内 誠
桜田門外の変と御庭番	6. 27		深井雅海
黒船来航と雄藩大名(一)	7. 4		白根孝胤
〃 (二)	7. 11		〃
安政の列島大激震(一)	7. 18		太田尚宏
〃 (二)	7. 25		〃

(6) 能楽講座「尾張徳川家の能」

(内 容)	(年月日)		(講 師)
院政期の芸能界-白拍子 静-	21. 4. 2	歌人	馬場あき子氏
能舞台に船登場 船頭一人で大奮闘	5. 2	和泉流狂言方	井上靖浩氏
美しい静御前から怨霊へ	6. 6	シテ方	観世喜正氏・辰巳満次郎氏
静の涙、押し寄せる大波	8. 8	藤田流笛方	藤田六郎兵衛氏

(7) 古美術相談会

6回開催12件。この他に写真の郵送、来館などにより計20件の古美術相談を行った。

(8) 名曲講座

(内 容)	(年月日)	(入場者)
①パン・フルート・トリオ (中日新聞社共催)	21. 5. 24	120名
②139カルテット コンサート (中日新聞社共催)	7. 5	80名
③ニコラス・サラトフスキー ピアノ・リサイタル (中日新聞社共催)	7. 30	70名
④田淵友佳理 ソプラノ・リサイタル (中日新聞社共催)	21. 3. 13	180名

(9) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

「畑儀文さんが奏でる子どもの音楽」

6. 21、28

(10) 特別企画

(a) 端午の節供 特別企画

親と子の甲冑教室2009

21. 5. 5

7組 のべ来場者 500名

一般来館者も甲冑や鉄砲に触れる体験コーナーを設置、好評であった。また当日は小中学生入館者無料とした。

(b) あいち子ども芸術大学2009 「歌舞伎図巻」とかぶき踊り -いざや、かぶかん-

12. 12

(c) 特別企画「尾張万歳」 尾張万歳保存会

22. 1. 9

(d) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画

2. 27

十二単着付教室(2回) 来場者約800名

(e) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画

3. 6

オリジナル 香袋・文香をつくる

(11) 土曜子ども教室

21. 4. 4~22. 3. 27 44日実施 子ども 966名・大人481名 合計1,447名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、常設展展示室での展示解説。

(12) 夏休み子ども特別企画

名古屋市立小中学校ほかにポスター作成・配布			500枚
「信長・秀吉・家康の合戦」 ギャラリー・クイズ	8. 1～8. 31		2, 234名
小中学生の歴史教室「信長・秀吉・家康の合戦」	〃		1, 204名
歴史体験教室「作って遊ぼう貝あわせ」	〃		1, 042名
〃 「兜づくり教室」	8. 1、2		20組80名
親子長篠合戦ツアー	8. 22～23		8組16名

(13) 賛助会・友の会見学会

第43回 ワシントン・ニューヨーク・ボストンー東洋美術をたずねてー 21. 12. 6～13

(14) 体験学習受け入れ

5月13日・15日実践女子学園中等部修学旅行289名、10月29日桑名市立大山田東小学校76名、3月2日名古屋市立千石小学校33名ほか貝あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内見学のべ1, 081名。小中学校の分散学習や質問に対応、41団体が来館した。

(15) 体験講座 ー日本の伝統文化にふれるー

聞香	31件	548名
貝あわせ	6件	171名

(16) 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 21. 7. 27

中学校の部 10名、小学校の部 35名参加

(17) 聴覚障がい者のための鑑賞会 22. 3. 7

(18) 視覚障がい者のための鑑賞会 3. 25

(19) 夏期夜間延長開館 21. 8. 14～16

隣接する徳川園が夏期に開館時間を延長するのに合わせ、当館でも上記3日間に限り、開館時間を2時間延長して午後7時まで開館した。

7. 広報活動

(1) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

(2) ニュースレター作成

(a) 企画展プレスプレビュー

書の名品をたずねて、日本の“美術”の愛し方、信長・秀吉・家康の合戦、物語の森へ、
戦国ふあっしょん、蓬萊、尾張徳川家の雛まつり

(b) 記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

(c) 名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、8月夜間開館、あいち子ども芸術大学2009、
新春プレゼント掲載依頼

(d) 親と子の甲冑教室、十二単着付教室、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教
室、ひな御膳 掲載依頼

(e) 土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、尾張万歳、ひな御膳、
十二単着付教室 取材願い

(f) 特別公開 慶勝折り畳み茶室、国宝源氏物語絵巻・「泪の茶杓」、秋山好古筆小学校長
辞職願取材願い

(3) プレスプレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(a) 書の名品をたずねて	21. 4. 10	2	1
(b) 慶勝折り畳み茶室	4. 27	4	3
(c) 端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	0	1
(d) 日本の“美術”の愛し方	5. 29	2	1
(e) 信長・秀吉・家康の合戦	7. 17	1	2
(f) 夏休み子ども教室	8. 1	0	1
(g) 物語の森へ	9. 4	2	3
(h) 戦国ふあっしょん	10. 9	2	3
(i) 戦国ふあっしょん記念講演会	10. 10	1	0
(j) 特別公開 国宝源氏物語絵巻	11. 21	1	2
(k) 蓬萊	11. 20	1	1
(l) 尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	22. 2. 5	3	3
(m) 十二単着付教室	2. 27	1	1

(4) 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ ほか

(5) 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、産経新聞1件、
御園座パンフレット、キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、
名鉄・JR東海の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示、
日本通運名古屋支店屋外広告

(6) 印刷物・刊行物・映像 作成・配布

(a) 徳川美術館 パンフレット 作成

土曜子ども教室 ポスター・パンフレット 作成

夏休み子ども特別企画 ポスター 作成

(b) 割引券・年賀状・招待券作成

(c) 優待券作成

(d) 美術館たより「葵」の作成

第70号 4月1日発行

エッセイ「香りを楽しむ-志野流「名香合の会」に招かれて-」 館長 徳川義崇

第71号 7月 1日発行

エッセイ「家康の軍法の師は武田信玄」 静岡大学名誉教授 小和田哲男

第72号 10月 1日発行

エッセイ「フランスで考えた日本の心」 徳川宗家十八代当主 徳川恒孝

第73号 1月 1日発行

エッセイ「尾張名古屋の二つのルーツ」 名古屋市長 河村たかし

8. 賛助会・友の会

(1) 賛助会

(a) 会員状況(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

会員種類	会員数
個人会員	187件(187口)
家族会員	35組(35口)
法人会員	65件(65口)

※家族会員35組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名。

(b) 各種行事

- (a) 企画展内覧会 原則として各企画展前日に開催
 (b) 賛助会会員の日 21. 11. 20 99名

(2) 友の会

(a) 会員状況(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

会員種類	会員数	内 訳		平成20年度からの継続率
		新規	継続	
一般会員	427件(427口)	100件	327件	76.6%(427件中327件)
情報会員	49件(49口)	3件	46件	93.9%(49件中46件)

※一般会員427名中11名が半期入会(4,200円)の会員

(b) 募集 平成21年2月に現会員(平成21年度)及び過去会員を中心に、入会案内を送付。

9. ボランティアの会

(1) 登録者数 335名

(2) 展示解説

(a) 平日の解説

(b) 土・日・祝日の展示解説

(c) 土曜子ども教室

(d) 申し込み団体への解説

・概要解説 75件(延べ人数2,847名)

・体験講座(聞香・貝あわせ)－日本の伝統文化にふれる－ 37件(延べ人数 719名)

聞香 31件 548名

貝あわせ 6件 171名

(3) 行事

(a) 懇親会 22. 3. 13 180名

(4) 研修

(a) 定光寺見学 21. 4. 2

(b) 長篠・設楽ヶ原古戦場めぐり 7. 29

(b) 建中寺見学 10. 23

(c) 視覚障がい者対応研修 21. 7. 19、10. 16、22. 2. 18

(d) 聴覚障がい者対応研修 21. 10. 16

(5) その他の活動

(a) 学芸部・企画情報部業務支援 2名

(b) 特別専任ボランティア 7名

(c) 講座等題字作成 1名

(d) 館内生け花 1名

2. 処務事項

[I] 主な来館者（敬称略）

- 7月25日 ロナルド・ポスト駐日米国臨時主席公使夫妻
9月11日 ペーテリス・ヴァイヴァルス駐日ラトビア共和国大使一行 3名
10月 2日 マルガリータ・マリア・ボット在大阪・神戸オランダ総領事一行 4名
平成22年 1月22日 マーク・M・ウォール駐日米国経済担当公使一行 2名

[II] 第18回徳川美術館運営懇話会

- 開催日 平成21年10月22日（木）午後4時30分から5時
開催場所 徳川美術館 貴賓室
出席委員 愛知県知事 神田真秋氏、 名古屋市長 河村たかし氏、
社団法人中部経済連合会会長 川口文夫氏、 名古屋商工会議所会頭
岡田邦彦氏、 株式会社三菱東京UFJ銀行名誉顧問 西垣 覚氏、
中部電力株式会社社長 三田敏雄氏、 財団法人徳川黎明会会長・徳川美術館
館長 徳川義崇（7名）
欠席委員 トヨタ自動車株式会社最高顧問 豊田英二氏、
名古屋鉄道株式会社相談役 木村操氏（2名）
議事進行 議題1 委員交代
名古屋市長交代に伴い河村たかし氏の新委員選任が了承された。
議題2 徳川美術館の運営報告等
副館長 四辻秀紀が平成20年度の事業・収支状況・施設管理状況・
館関係情報の報告を行った。ついで補修費を賄う為の募金活動の必
要性、公益法人問題、開府400年を迎えてのPR方について質疑応答を
行った。

[Ⅲ] 来館者誘致活動

1. 団体来館者の利用推進

- (1) 旅行会社への働きかけ（関東、近畿、東海地区の大手旅行社・バス会社22社へ働きかけ）
- (2) ライオンズクラブの出張例会実施 1クラブ実施
- (3) 東海地区の高校PTAに美術館見学の企画提案

※団体入館者数実績 26,850名

2. 個人来館者の利用推進

- (1) 鉄道会社（JR東海、名鉄）へのポスター・チラシによる広報宣伝協力
 - *企画展示「信長・秀吉・家康の合戦」、秋季特別展「戦国ふあっしょん」特別展「尾張徳川家の雛まつり」
- (2) 前売券の販売促進
 - *百貨店友の会（6店舗）2,090枚販売 他、チケットぴあ、ローソンチケット、東海四県生協で販売実績有り
- (3) 百貨店友の会の見学会実施
 - *「尾張徳川家の雛まつり」展
三越友の会（27名）
- (4) 鉄道会社主催のウォーキングイベントとタイアップ推進
 - *「名古屋市交通局・駅ちかウォーキング」参加者への来館誘致
21.9.6 実施 実績：95名
 - *「JRさわやかウォーキング」参加者への来館誘致
21.11.3 実施 実績：50名
22.3.20 実施 実績：42名
- (5) 時間外開館の実施
 - ①22.3.26「三菱東京UFJ銀行 雛まつり展特別鑑賞会」の実施（参加者 152名）

(6) 近隣地域・施設・組織との連携

- ①大曽根商店街との連携（各店舗でひな人形の展示）
- ②瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携
- ③フラワードーム2009との相互PR・割引連携（週末連絡バスの運行）
- ④名古屋城との相互PR・割引連携
- ⑤ウェスティンナゴヤキャッスルとの宿泊セットプラン企画 実績：79名
- ⑥㈱ゼットンの株主への入館引き換え券配布 利用実績：271名
- ⑦はち丸手形（名古屋城・徳川園とのセット券）の発売 販売実績：1,657枚
- ⑧ランの館との共通券発売 販売実績：105枚

(7) 聞香体験企画の実施（募集）

- 21.9.17 101名参加
- 22.1.30 106名参加

※個人入館者数実績 191,198名

[IV] 計画営繕整備

1. 建物・設備管理の中期営繕計画に基づき、短期営繕計画立案と実施

(1) 館内整備実施事項

- ロビー・廊下照明装置リモコンシステム改修
- 学芸事務室天井照明・避難誘導灯取替
- 建物外構部修繕（犬走り、排水枡、縦樋）
- ミュージアムショップ改装および授乳室・ロッカールーム・倉庫新設
- 第6展示室（源氏ビデオコーナー）とビデオコーナー改装
- ビデオ関連機器処分
- 宝善亭水道バルブ取替修繕
- 地下倉庫用排気ファン取替
- 空調機AH10系統冷温水制御弁取替

(2) 庭園・茶室整備実施事項

- 徳川茶会を主とする庭園維持管理と餘芳軒・山ノ茶屋「襖」「障子」「畳」修繕
- 餘芳軒水屋床版修繕
- テータ松・銀杏伐採

2. 備品整備

購 入

- ワイヤレスコール 1台

3. 諸契約の締結

- 総合管理業務請負契約
- エレベーター・リフト保守契約
- 火災・機械保険契約
- 博物館総合保険

徳川林政史研究所

1. 事業事項

[I] 調査・研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
(1) 近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年4月
(2) 江戸の園地政策	副 所 長	深井 雅海 // 18年4月
(3) 江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員	太田 尚宏 // 18年4月
(4) 近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員	白根 孝胤 // 20年4月
(5) 中山間地域の近代的展開	特任研究員・筑波大学教授	加藤 衛拓 // 20年4月
(6) 秋田藩林政史	秋田工業高等専門学校教授	脇野 博 // 20年4月
(7) 尾張藩享保林政改革と木曾山の生活	特任研究員	大崎 晃 // 21年4月
(8) 幕末・明治期における尾張徳川家の 林政事業に関する研究	非常勤研究員	藤田 英昭 // 21年4月

2. 科学研究費補助金による研究

文部科学省からの科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

(1) 特定奨励費

研究事業名 近世・近代における森林管理・活用史研究に関する事業

補助事業の一環として、森林管理史アーカイブズ調査を行い、今年度は下記の調査を実施した。

・龍野歴史文化資料館所蔵史料調査	H21. 5. 22～ 5. 25
・秋田市立中央図書館・秋田県立公文書館所蔵史料調査	H21. 7. 6～ 7. 9
・龍野歴史文化資料館所蔵史料調査	H21. 7. 30～ 8. 3
・龍野歴史文化資料館所蔵史料調査	H21. 10. 31～11. 2
・秋田市立中央図書館所蔵史料調査	H21. 11. 2～11. 5
・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査	H21. 11. 16～11. 17

(2) 若手研究 (B)

課 題 番 号	20720178
研究課題名	幕臣の「御雇」任用制に関する研究—近代雇用システムへの展望として—
研究代表者名	田原 昇 (非常勤研究員)

3. 自主事業による史料調査

八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 (受託事業)	第1回	H21. 7. 22～ 7. 24
〃	第2回	H21. 10. 28～10. 30

[Ⅱ] 研究発表

1. 「研究紀要」第44号 平成21年度

- | | |
|------------------------------------------------------|-------|
| (1) 近世後期における尾張家の植栽空間と大名庭園 | 白根 孝胤 |
| (2) 飛騨幕領における休山策と元伐生産の変容 —明和期を中心に— | 高橋 伸拓 |
| (3) 飛騨幕領における元伐稼と山方村々「相続方」
—嘉永～安政期の御材木伐出方改正一件を事例に— | 太田 尚宏 |
| (4) 北海道開拓の発端と始動—尾張徳川家の場合— | 藤田 英昭 |
| (5) 将軍姫君の公儀付人・女中について—尾張藩主徳川斉朝夫人淑姫の事例から— | 吉成 香澄 |

2. 研究会

- | | |
|-------------------------------------------------|----------------------|
| (1) 第1回研究会（夏季研究集会）（H21. 8. 7） 於 豊島区勤労福祉会館 第7会議室 | |
| 町奉行所における外国掛の成立と展開 | 津田小羊子 |
| 『よしの冊子』における寛政改革の考察 | 橋本 佐保 |
| 尾張徳川家が迎える上使に関する一考察—宗睦期を中心に— | 根岸 美季 |
| 近世後期秋田藩における山林資源の利用と村方余勢—阿仁銅山を事例に— | 芳賀 和樹 |
| 江戸幕府御用木の生産・運送と地域社会—飛騨国を中心に— | 高橋 伸拓 |
| 若狭野浅野家文書の調査とその概要 | 田原 昇 |
| 伊勢遷宮用材と山田奉行浅野長恒 | 太田 尚宏 |
| 赤穂浅野家「鉄炮洲上屋敷絵図」について | 渋谷 葉子 |
| 浅野家文書から見た火事場見廻りの職務 | 浦井 祥子 |
| 幕末維新时期における若狭野浅野家の動向 | 藤田 英昭 |
| (2) 第2回研究会（H21. 11. 16） 於 徳川林政史研究所 | |
| 尾張徳川家による北海道開拓について | 藤田 英昭 |
| (3) 共催シンポジウム（H21. 10. 29） 於 岐阜市ハートフルスクエアG | |
| ふるさと濃飛の歴史 —「岐阜県歴史資料館」所蔵文書の魅力— | |
| 岐阜市生涯学習センター・（財）岐阜市教育文化事業団主催 | |
| 岐阜市学会共催、地方史研究協議会・徳川林政史研究所後援 | |
| 織田信長文書を読む | 國學院大学講師・千葉県文書館 平野 明夫 |
| 飛騨幕領における林政”大転換” —植林・休山政策を見直す— | 太田 尚宏 |
| 美濃の水と農民 | 元・大垣北高校教諭 所 史隆 |
| (4) 共同研究事業成果報告会（江戸東京博物館・徳川林政史研究所共同研究事業） | |
| 旗本浅野家文書の世界—「若狭野浅野家資料」の総合的研究— | |
| (H21. 12. 12) 於江戸東京博物館 | |
| 若狭野浅野家とその古文書 | 田原 昇 |
| 伊勢遷宮御用材と山奉行浅野長恒 | 太田 尚宏 |
| 赤穂浅野家「鉄炮洲上屋敷絵図」について | 渋谷 葉子 |
| 浅野家資料から見た火事場見廻りの職務 | 浦井 祥子 |
| 幕末維新时期における若狭野浅野家の動向 | 藤田 英昭 |
| 若狭野浅野家資料の収蔵経緯と地域資料 | 龍野歴史文化資料館学芸員 市村 高規 |

3. 部外発表

- | | |
|-----------------------------------------------------|-------|
| (1) 『寛政改革の研究』（吉川弘文館） | 竹内 誠 |
| (2) 寛政三年の上覧相撲と決まり手書上げの慣例化（『相撲博物館紀要』第8号） | 〃 |
| (3) 『江戸文化の見方』（角川学芸出版） | 〃 |
| (4) 『外国人が見た近世日本 日本人再発見』（角川学芸出版） | 〃 |
| (5) 『近世公家名鑑編年集成』1～6巻（共編、柊風舎） | 深井 雅海 |
| (6) 「江戸の暮らし」「江戸の住まい」（『江戸文化の見方』所収、角川学芸出版） | 太田 尚宏 |
| (7) 尾張家における「両敬」の形成と将軍権威（岸野俊彦編『尾張藩社会の総合研究』第四篇、清文堂出版） | 白根 孝胤 |

4. 部外出講

- | | | | |
|------------|----------|----|-------|
| (1) 昭和女子大学 | 日本近世史 | 通年 | 太田 尚宏 |
| (2) 〃 大学 | 歴史文化研究ⅠB | 通年 | 〃 |

[Ⅲ] 史料・図書の収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- (1) 尾張徳川家文書（尾四）の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った（312点）。
- (2) 蟹江鈴木家文書の目録カードを作成した（400点）。
- (3) 蟹江山口家文書（再整理分）の目録カードを作成した（100点）
- (4) 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（1,041点）。
- (5) 松原家文書の整理を継続し、目録カードを作成した（2,166点）。
- (6) 蜂須賀家文書の目録細目カード作成およびデータ入力を行った（200件）。
- (7) 徳川林政史研究所収集絵図の目録作成を行った（50件）。
- (8) 画像データ付古写真資料データベースを作成・完了した（3,150件）。

2. 研究用史料の写真撮影

原史料の保全および研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- (1) 秋田市立中央図書館所蔵史料（デジタルデータ9,600コマ）。
- (2) 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ3,400コマ）。

3. 所蔵史料のデジタル化

- (1) ガラス板古写真の画像解析および保存のため、デジタル化を行った。（7点7カット）
- (2) 古写真目録作成準備のため古写真史料35mmフィルムのデジタル化を行った。（1,742コマ）
- (3) 研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料35mmフィルムのデジタル化を行った。（「源敬様御代御記録」「鸚鵡籠中記」他、14,200コマ）

[IV] 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書目録(六) を研究紀要第44号に収録刊行した。
- (2) 石河家文書目録(五) を研究紀要第44号に収録刊行した。

[V] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座	徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催		
(内 容)	(年 月 日)	(講 師)	(参加者数)
(1) 徳川家康の遺訓	H21. 9. 3	竹内 誠	104名
(2) 二代将軍秀忠の人物像	9.10	太田 尚宏	102名
(3) 「寛永小説」に見る三代将軍家光	9.17	深井 雅海	108名
(4) 徳川御三家の創出と将軍家	9.24	白根 孝胤	102名
(5) 林政史特別講座 江戸幕府御用木の生産・運送と地域社会 ー飛騨国を中心にー	10. 1	高橋 伸拓	100名

2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
(1) ペリー来航とその時代	H21. 6.20	竹内 誠
(2) 桜田門外の変と御庭番	6.27	深井 雅海
(3) 黒船来航と雄藩大名(1)	7. 4	白根 孝胤
(4) " (2)	7.11	"
(5) 安政の列島大激震(1)	7.18	太田 尚宏
(6) " (2)	7.25	"

3. 公開講演会 「江戸の自然環境」 徳川林政史研究所・北区古文書学習会共催

	H22. 2.27	於 赤羽会館	参加者202名
(1) 都市江戸のオアシス～大名庭園の花と緑～		太田 尚宏	
(2) 英国人植物学者が見た幕末の王子		北区中央図書館 保垣 孝幸	
(3) 水と緑の都市・江戸		竹内 誠	

4. 公開講座の成果刊行

平成18年度に実施した第8回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読むーペリー来航ー』（東京堂出版）を刊行した。

5. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
幕臣たちの二つの顔	国立公文書館特別展「旗本・御家人」 記念講演	H21. 4. 11	竹内 誠
江戸の知恵と心に学ぶ	裏千家東京東支部総会記念講演	4. 19	〃
江戸庶民の暮らし	ひたちなか市消費者月間記念講演会	5. 21	〃
花開く江戸文化	第54回日本透析医学会総会特別講演	6. 5	〃
歴史研究における「地域」	中央大学人文研究所講演	7. 4	〃
巨大都市江戸を語る	第32回湯島聖堂文化講演会	7. 20	〃
江戸の暮らしと行政	内外情報調査会主催 第33回行財政研修会講演	7. 21	〃
現代に活かそう江戸の心	野尻湖夏期大学60周年記念大会講演	7. 28	〃
江戸の華・粋と元気	民族衣装文化普及協会名古屋近畿総会 記念講演	10. 3	〃
江戸時代の日本橋界限	中央区立日本橋図書館開館100周年 記念講演	10. 10	〃
外国人が見た徳川日本	第25回歴史研究会全国大会記念講演	10. 24	〃
江戸の女性たち	第50回全国退職女性校長会東京大会 記念講演	10. 27	〃
大江戸の魅力	仙台・江戸学講座講演	11. 6	〃
日本の伝統と文化	東京都教育庁教員研修会講演	11. 10	〃
それぞれの幕末維新	犬山市市民総合大学講演	11. 14	〃
地方史研究の現状と課題	「群馬文化」300号記念特別講演	11. 28	〃
江戸の暮らしと心	東京都消防協会第7方面支部幹部研修会 講演	H22. 2. 5	〃
大相撲の歴史	永楽倶楽部相撲研究会講演	2. 17	〃
共助の町・江戸	東京都消防協会第6方面支部幹部研修会 講演	2. 19	〃
江戸城という政治空間－日常的な政治運営と本丸御殿	科学研究費補助金基盤研究(A)「『地図 史料学の構築』の新展開」2009年度公開 シンポジウム	H21. 7. 18	深井雅海
将軍直属の隠密御庭番－旗本の調査探索	神奈川県立公文書館古文書解読上級講座	10. 18	〃
館林城主徳川綱吉－将軍就任と家臣の活躍	館林歴史講演会2009「館林と徳川綱吉」	11. 23	〃
“森林崩壊”の謎	千早地域文化創造館 「千早グリーンカレッジ」	H21. 9. 1	太田尚宏

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
江戸時代の伐木・運材の不思議	千早地域文化創造館 「千早グリーンカレッジ」	H21. 9. 8	太田尚宏
官民あげての緑化の知恵	千早地域文化創造館 「千早グリーンカレッジ」	H21. 9. 15	〃
江戸幕府・諸藩における森林経営と「御救」理念	エコツェリア協会サロン 「日本文化から学ぶ環境力」第4回	H22. 1. 13	〃
江戸時代の林政の様相	林野庁森林技術総合研修所 養成研修専攻科研修	H22. 3. 8	〃
徳川慶勝の撮影写真と幕末・維新の情景	八雲町民公開講座	H21. 10. 29	白根孝胤

6. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、可能な限り研究・教育機関等からの調査・見学に協力した。

- (1) 林野庁森林技術総合研修所平成21年度養成研修専攻科15名の研修・見学を受入。(H22. 3. 8)
- (2) 國學院大学栃木短期大学日本史学科5名の研修・見学を受入。(H22. 3. 19)

7. 案内パンフレットの作成

- (1) 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成21年度版を作成した。

8. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

[VI] 図書の収集・整理

1. 図書整理

- (1) 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、新着図書710冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

2. 史料および図書の購入・受贈

- (1) 図書は『皇国地誌稿本 東京府誌』等205冊を購入。その他寄贈された図書505冊。
- (2) 雑誌は『歴史学研究』等212冊を購入。その他寄贈された雑誌666冊。
- (3) 史料は『装束図式』(1点)を購入。

4. 徳川記念財団所蔵史料関係

(1) 展示補修等への協力

史料名等	期間	目的
「勅答之書付写」等11点	H21. 4. 13 ~ H22. 1. 7	展示
「五ヶ国修好通商条約衆議尋書」等4点	H21. 7. 13 ~ H22. 1. 7	展示
「館林殿鷹場練間上使留」等6件26冊	H21. 11. 24 ~ H22. 2. 15	展示
「毛利征伐二付御儒者塩谷甲蔵上書」等20点	H22. 2. 15 ~ 3. 16	撮影

[Ⅷ] 平成21年度(第43号)研究紀要の寄贈・頒布

印刷部数 700部 内、寄贈・交換 539冊 頒布 57冊

2. 処務事項

[Ⅰ] 補助金関係

(1) 科学研究費補助金

- ①科学研究費補助金(特定奨励費)に係る申請・報告事務と経費管理事務を行った。
- ②その他の科学研究費補助金の申請・報告事務と経費管理事務を行った。

基盤研究C 1件

若手研究B 1件

基盤研究B(研究分担者) 3件

[Ⅱ] 事業評価委員会

平成22年3月15日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成21年度事業について評価・講評を受けた。

[Ⅲ] 備品購入

ノートパソコン Panasonic Lets Note CF-W9JWECDS 1台 (特定奨励費)

2. 徳川美術館拡充整備基金（公益事業）

徳川美術館

〔I〕 寄附金の業務

1. 第4回徳川美術館拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」の認定（平成21年2月9日付）を受け、平成21年2月9日より平成23年2月8日までの2年間、総額2,500万円を目標に寄附金の募集を開始した。

（1）寄附金受付業務

寄附金額（平成21年2月9日より平成23年2月8日まで）

平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

11,235,000 円 法人19件（33口）・個人305件（811.5口）

参考

平成20年度 (21. 2. 9～3. 31)	平成21年度 (21. 4. 1～22. 3. 31)	平成22年度 (22. 4. 1～23. 2. 8)
法人1件 300,000 円	法人 19件 3,300,000円	—————
個人7件 180,000 円	個人305件 7,935,000円	—————
計 480,000 円	計 11,235,000円	—————
寄附金受領額		11,715,000円

（2）大口寄附者に対する感謝状の贈呈（平成21年度）

（個人は30口以上、法人は10口以上）敬称略

法人会員 ㈱両口屋是清 サン商事㈱ (医)恵友会 川北電気工業㈱

個人会員 本間 栄 田中秀隆 千田由利子 田邊昌平 村上賢瑞

林 範子 森 康弘 加藤浩泰 中川恵子 高林克枝

〔Ⅱ〕 寄附金の使途

平成21年度は下記の通り使用した。

1. 第3回徳川美術館拡充整備基金

〔文化財保存事業〕

山本梅逸 絵入消息 七月九日付 柴田洞元宛	一幅	購入
備前焼 夜富文字香合	一合	購入
纏 「直鋒」	一枚	修理

〔教育普及事業〕

文化財管理システム更新事業

2. 第4回徳川美術館拡充整備基金

〔教育普及事業〕

文化財管理システム更新事業

※ 文化財管理システム更新事業は第3回、第4回の両方による支出

3. 収益事業

総務部

〔I〕住宅賃貸

外国人向け住宅6棟の賃貸

徳川美術館

〔I〕ミュージアムショップの運営・充実

1. 各展覧会に即した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを企画・工夫した。
2. ホームページ掲載などにより、ショップの案内及び商品の紹介を行った。
3. 新商品の開発を行った。（戦国武将フィギュア、クリアファイル、ぼち袋等）

〔II〕来館者への弁当販売

1. 徳川美術館では、事前に申込みを受けて希望者への弁当販売を行っており、平成21年度分(21.4～21.11)として計2,952食を販売した。
2. 宝善亭を平成22年1月より営業委託したことに伴い、打合せを行った。(22.1～3)